



実践テーマ

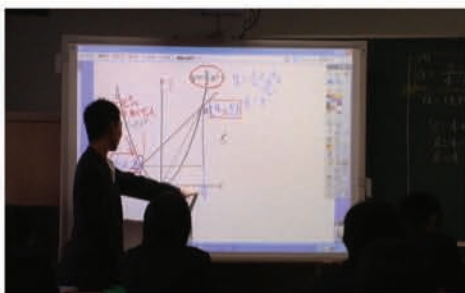
生徒が問題から読み取れる情報をグラフに書き込みながら、自分の考えを説明する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 本時の問題を電子黒板に提示し、問題から読み取れる情報（交点の座標、求める三角形、三角形の底辺や高さ）をグラフに書き込み、課題を理解する。（課題の理解を助ける）
- 〈展開〉 4人グループになり課題を考え、電子黒板を使って、自分の考えを説明する。（課題解決）
- 〈まとめ〉 電子黒板を使って本時のまとめをする。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を電子黒板に映し、本時の課題を提示。</li> <li>問題から読み取れる情報をグラフに書き込む（PC教材）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラフ 使用ソフトウェア： ますなび先生（(株)新興出版社啓林館）</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人グループになり、問題を考えたり、教えあったりして問題解決する。</li> <li>自分の考えを電子黒板を使い、数値を書き入れたり、式を書いたり、色を付けたりしながら説明する（静止画①）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●問題グラフ</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のノートに書いてある式を実物投影機で映しながら説明する（静止画②）。</li> <li>本時の学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒のノート</li> </ul>



生徒が自分の考えを電子黒板を使って説明する



電子黒板を使って本時のまとめをする

生徒の反応・効果

- ・問題を電子黒板で提示することで、生徒の目線が上がり、集中力が高まった。
- ・電子黒板を使って説明することで、図に書き込みながら行うことができるので、生徒の考えが他の生徒に伝わりやすかった。
- ・電子黒板を使って大切なところを振り返ることで、理解が深まった。

活用のポイント

- ・図に書き込むことは電子黒板で、求める過程の式は板書でというように、使い分ける。
- ・生徒のノートを実物投影機で映し、それを使って説明すると、時間が短縮でき、より多くの生徒に発表させることができる。